



info

Sys:port®

第31号 2010年7月発行

連載企画 “一丁囃”が行く！ 第30回：中小企業憲章

6月18日、中小企業憲章が閣議決定されました。

中小企業憲章とは、日本の経済・社会・文化及び国民生活における中小企業・自営業の役割を正に評価し、豊かな国づくりの柱にすることを国会が決議し、憲章の精神を実現するために、現行の中小企業基本法をはじめ、諸法令を整備・充実させる道筋を示すものとして、中小企業家同友会がその制定運動を進めてきました。そして、経済産業省（中小企業企業庁）内に設置された「中小企業憲章に関する研究会」での討議を経て、このたび閣議決定されました。

中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。常に時代の先駆けとして積極果敢に挑戦を続け、多くの難局に遭っても、これを乗り越えてきた。（中略）

我が国は、現在、世界的な不況、環境・エネルギー制約、少子高齢化などによる停滞に直面している。中小企業がその力と才能を発揮することが、疲弊する地方経済を活気づけ、同時にアジアなどの新興国の成長も取り込み日本の新しい未来を切り拓く上で不可欠である。

政府が中核となり、国の総力を挙げて、中小企業の持つ個性や可能性を存分に伸ばし、自立する中小企業を励まし、困っている中小企業を支え、そして、どんな問題も中小企業の立場で考えていく。これにより、中小企業が光り輝き、もって、安定的で活力ある経済と豊かな国民生活が実現されるよう、ここに中小企業憲章を定める。

という前文に始まり、「基本理念」「基本原則」「行動指針」を定めて、

世界経済は、成長の中心を欧米からアジアなどの新興国に移し、また、情報や金融が短時間のうちに動くという構造的な変化を激しくしている。一方で、我が国では少子高齢化が進む中、これからは、一人ひとりが、力を伸ばし発揮することが、かつてなく重要性を高め、国の死命を制することになる。したがって、起業、挑戦意欲、創意工夫の積み重ねが一層活発となるような社会への変革なくしては、この国の将来は危うい。変革の担い手としての中小企業への大いなる期待、そして、中小企業が果敢に挑戦できるような経済社会の実現に向けての決意を政府として宣言する。

と結ばれています。（<http://www.chusho.meti.go.jp/kensho/2010/100618Kakugi.htm> 参照）

中小企業の立場や役割を正に評価してもらえる時代が到来したと単純に喜んでいるのではなく、私たち中小企業に課せられた責務をしっかりと自覚して、地域における企業の社会的責任を全うすべく、更に努力していかなければならないことを痛切に感じます。（一丁囃：いっちょかみ）

特集

ツイッター（Twitter）（その2）

先月号でツイッターについて書いたところ、もう少し具体的なことを教えてほしいとのご希望もありましたので、使い方など少し触れてみたいと思います。

まず、ツイッターのアカウントを作成（ツイッターをやるための名前の登録など）する必要があります。

ツイッターのホームページ（<http://twitter.com/>）を表示し、「今すぐ登録」をクリックします。すると下のような画面が出てきます。

「名前」には自分の名前（フルネームでもペンネームでもいいです）を書きます。

「ユーザー名」にはツイッターで使う名前を書きます。（同じ名前が既に登録されている場合には登録できません）

「パスワード」と「メールアドレス」を入力し「アカウントを作成する」ボタンを押せば完了です。

あとは誰かをフォローしたり、自分がつぶやいたり…ということで、ツイッターに参加できます。

次に、いろいろやってみた中でおもしろそうなものをご紹介します。

インターネット上で一般の人がレシピを掲載している「クックパッド」がツイッターでレシピ紹介をしてくれるというのを発見しました。

食材をつぶやくとその食材を使った料理を教えてくれるということでした。

早速、「@recipetter 鯛 大根」とつぶやいてみました。（@マークは特定の人につぶやきを送る場合に使います。）

数秒のちに、「たいの酒骨蒸しはどうでしょう <http://cookpad.com/recipe/55904>」ということで返事が返ってきました。

つぎに「ついっぷる」にアクセスしてみました。有名人のアカウント紹介、ツイッター関連の便利ツールやアカウント検索などツイッターを楽しむツールが沢山ありました。また、自分をフォローしてくれている人をみるとその人がどんな人をフォローしているとか、どんな人にフォローされているのかもわかりますので、数珠つなぎ的にフォローを広げていくこともできます。

自分がつぶやかなくてもいろいろな人のつぶやきをリアルタイムで見ることができますので、幅広くいろいろなナマの情報収集ができておもしろく感じます。

皆さんも是非挑戦してみてください。

読者 訪問

第6回

訪 問 先

会 社 名：社会福祉法人京都府社会福祉協議会
業務内容：民間の社会福祉活動の推進を支援
住 所：〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町 375
ハートピア京都
面 談 者：主事 菊本 隆博 さん
TEL：075-252-6292 FAX：075-252-6312

今回は社会福祉活動を支援する非営利団体の京都府社会福祉協議会さんにお邪魔しました。社会福祉協議会は市区町村や都道府県単位であり、それぞれ民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者などと協力して安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」のための活動を行っている団体です。

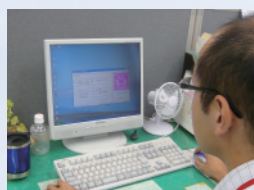
昨年12月、「介護福祉士等修学資金貸付制度」の運営管理をするためのシステムを当社で開発/導入させていただいたことからお付き合いが始まりました。

「介護福祉士等修学資金貸付制度」とは、人材確保が課題となっている介護福祉分野の制度で、介護福祉士や社会福祉士の資格取得を目指す人たちに支援をする目的で始まりました。養成施設（専門学校や大学等）での在学期間に一定の修学資金を無利子で貸し付け、卒業後、一定の期間、福祉施設に従事した場合に返還を免除するという制度です。逆に一定条件をクリアできなかった場合には、それぞれの条件に応じた返済義務が生じます。ですので、この制度の運用にあたっては、対象者個人ごとに貸付状況や返済状況など、複雑な管理をする必要があり、コンピュータでの処理が必要となります。管理対象者が少ないときはExcel等で管理ができますが、人数が増えてくるとExcelでは処理しきれなくなり、専用の管理ソフトが必要となります。そこで全国社会福祉協議会が各都道府県の要望を取りまとめ、システムの共同開発を検討しましたが、価格が高価なこと、都道府県ごとに一部運用面で異なる部分があり、そのためのカスタマイズ費用が更にかさむこと、東京からのサポートで細かな対応に不安があることなどが懸念されました。

そこで、京都府社協さんでは『多機能はいいのでもっと安く地元で開発してくれるところはないのか』といろいろ探されてシスポートにたどり着き、開発のご依頼をいただきました。そして、何度も打ち合わせをさせていただいてスリムで使い易いシステムを目指し、全社協幹旋のソフトの半額以下でご提供することができました。

制度上、国や京都府からいろいろな報告書の提出を求められることも多く、『細かなことにも迅速に対応して下さってほんとに大助かりです』と菊本さんはおっしゃって下さいます。先月号の「一丁嘯が行く」で“Excel 症候群”のことを書いていますが、処理件数が増えてきた今、まさに“Excel 症候群”に陥らないためのシステム導入であったと思います。

※Excel 症候群…Excel で定型的な処理を行うと多大な手間と時間がかかり、処理結果を求めることが目的であるにもかかわらず Excel を使うことが目的化してしまって、毎日パソコンの前に長時間座っている状態になってしまうこと



Excel ワンポイント講座



今回は知っているようで知らない機能をひとつご紹介しましょう。Excel には日付関数というのがあり、「7/1」と入力すると「7月1日」と表示されたり、「2010/7/1」と表示されたりすることはご存じだと思います。

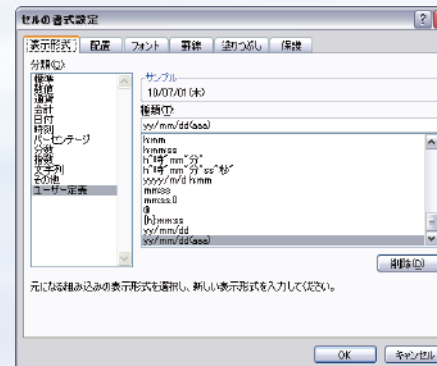
皆さまはその時々、いろいろな表示形式で表示されていると思いますが、曜日はどうなさっていますか？

年月日の横のセルに手打ちしているというようなことはありませんか？

曜日を自動表示させるためには表示したいセルにカー

ソルを置き、=text(日付の入っているセル,“aaa”)と入力してやれば、そのセルに指定した日付の曜日が入ります。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		10/07/01	木		
4		10/07/01(木)			
5					
6					



また、同じセルに表示させたいときには、「セルの書式設定」から「表示形式」→「ユーザー定義」を選び、書式を yyyy/mm/dd(aaa) と設定すると、日付のあとに曜日が表示されます。

知っているようで知らないことって結構あるものです。ちょっとしたテクニックを知ることは操作効率の向上につながります。

これからも、裏技と言うほどでもないが、知っていると便利と思われる“ネタ”をご提供して参ります。

シスポート TOPICS

6月度「SBC セミナー」(今さら聞けない IT 活用の基礎知識)を6月17日(木)に開催しました。インターネットやメールの仕組みをはじめ、知っておきたい基礎的な知識について7名の参加者の方々に勉強していただきました。

7月度「SBC セミナー」(製造業のあるべき姿を考えて見よう)
日 時：7月14日(水)13:30～16:00 頃
会 場：キャンパスプラザ京都 5F 第2演習室
講 師：上野 雅弘(株式会社デジック 代表取締役)

無 料

低価格
生産管理ソフト
のデモも実施

発行 [Sys.port] シスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16
TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130
e-mail info@sysport.co.jp
HomePage http://www.sysport.co.jp



第31号 2010年7月発行

‘SOFT-YA’

‘IT-YA !’